

福田よしお県政レポート



編集・発行 福田よしお事務所 〒470-0155 愛知郡東郷町白鳥二丁目 4-7

TEL: 0561-39-4407 FAX: 0561-39-4408 e-mail: fukuta440@yahoo.co.jp

ホームページ・Facebookにも活動の様子がのせてあります。ぜひご覧ください！



愛知県議会 12月定例議会報告（12月1日～20日）



輝かしい平成30年の新春を迎え、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より福田よしおの活動に格別のご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、愛知県12月定例議会は平成29年12月1日から20日まで開かれました。今議会では、総額47億4,220万円の補正予算と条例関係など合わせて47件の議案が提出され、可決成立しました。

特に補正予算では、大府市にある国立長寿医療センター支援が、本県独自に取り組む認知症に理解の深い街づくりの実現のため「オレンジタウン構想」の中核をなすセンターが国による建て替え滞っているため、県として進展をめざすものです。また条例関係では「国民健康保険事業費納付金の徴収に関する条例」これは平成30年4月より県が国民健康保険の財政運営の責任主体となることから、保険給付などに必要な費用の原資として各市町村から徴収する国民健康保険事業費納付金の額を算定するために必要な事項を定めるものです。終わりに、本年が災害のない安心安全で、一層輝かしい年となりますよう心からお祈り申し上げましてご挨拶といたします。



「新政あいち」(平成30年2月3日設立)

民進党愛知県議員団が2月議会を前に会派名称を「新政あいち愛知県議員団」に変更する予定です。また、民進党名古屋市議団とも協議した結果、新たな政治団体の設立をめざすこととなりました。この政治団体は、愛知県の地方議員が地域の課題や県政の課題に取り組むため、多くの議員が参加する「自治体政策フォーラム・愛知」と「連合愛知政策推進議員懇談会」をベースに、より力強く活動を進めるため政治団体「新政あいち」を設立する運びとなったものです。

現在、多くの県民の皆様や各種団体の皆様からご支持、ご支援を頂けるような政策をお示しするため精力的に取り組んでいますので、ご指導ご鞭撻を賜り「新政あいち・福田よしお」を育てていただきますようお願いいたします。



平成29年12月7日(木)本会議で一般質問に立ちました

広域行政の状況と今後の方向性は？

質問要旨(福田よしお)

スケールメリットと効率化をめざす「水道の広域化」の今後の方向性について伺う。

答弁要旨(保健医療局長)

我が国の水道は高い普及率を達成しているが、今後これを維持するためには人口減少に伴う料金収入の減

少、水道施設の老朽化・耐震化といった課題に対応していくため、本県では国が平成25年に「新水道ビジョン」を公表したことを契機に「愛知県水道広域化研究会議」を設置して、全ての市町村等と県で





広域化の検討を行っている。その結果、一部事務組合の設立、市町村合併に伴う事業統合等が進められ、平成 28 年度の上水道は昭和 56 年度の 56 から 13 減少して 43 事業に、簡易水道は 90 から 78 減少して 12 事業となっている。しかし、各水道事業において、料金水準や耐震化水準等に大きな格差があり、今後も「水道広域化研究会議」を通じて、まずは隣接市町村等の間で管理の一体化や施設の共同化など事業連携を段階的に進め、将来に渡り安全で安定した水道水の供給につなげていく。

質問要旨(福田よしお)

スケールメリットと効率化をめざす「消防広域化」の現状と今後の見通しについて伺う。

答弁要旨(防災局長)

本県では、平成 19 年度に「愛知県消防広域化推進計画」を策定し、県内を概ね人口 30 万人以上の 11 の圏域に分け、名古屋市、豊田市、衣浦東部広域連合を除く 8 つの圏域で、消防の広域化について検討が行われてきた。現在は尾三消防組合と豊明市・長久手市が、平成 30 年 4 月を目標とした消防広域化の実現に向けて手続きが進められている。また、平成 29 年 4 月新たに国から「市町村の消防の連携・協力に関する基本指針」が示され、これを契機として消防の広域化を推進することが適当であるとされた。本県としても、国の方針に沿って、県内の消防本部において消防の連携・協力の検討が図られるよう助言を行っていくとともに、引き続き消防広域化を推進し県内の消防力の強化を図っていく。

消防広域化後の消防本部と市町村の防災部局との連携は？



質問要旨(福田よしお)

消防広域化後の消防本部と市町村の防災部局との連携について、どのように指導助言しているのか伺う。

答弁要旨(防災局長)

「愛知県消防広域化推進計画」において、消防広域化後の消防本部と市町村防災担当部局との連携の確保を図るための方策をとることが必要である旨を明記し、消防広域化にあたって留意するよう市町村等へ助言している。現在、尾三消防組合と豊明市・長久手市の消防広域化に関する協議の中で、平時より消防本部と構成市町の防災部局とで互いに職員を派遣し、非常時には、さらに、市町の災害対策本部へ消防署員を連絡員として派遣する体制をとることで連携を図ることとしている。今後とも、消防広域化を進めるにあたっては、消防本部と市町村防災担当部局との連携の確保が図られるよう助言をしていく。

「巨大地震の予測困難」大規模災害時の初動対応は？



質問要旨(福田よしお)

突発的な大規模地震などに対応するため県の「初動体制」と「市町村や消防本部との連携強化」はどうなっているのか。

答弁要旨(防災局長)

本県では、災害対応を迅速に行うため、防災局職員 2 名と各部局の管理職員の 1 名の合計 3 名の宿日直者が速やかに災害情報センターを立ち上げる。また、防災局の課室長以上 1 名が常に県庁近隣の宿泊施設で待機し、発災直後から同センターで速やかに指揮をとることとしている。県内で震度 5 強以上の地震が発生した場合は全職員が参集するが、勤務時間外にあっては職員が速やかに参集できないおそれがあることから、県庁の近くに住む職員をあらかじめ「一時代行者」として指名し発災後速やかに登庁し、災害対応にあたる。さらに消防機関の活動状況等、市町村が収集した情報を、いち早く把握するため、市町村役場の近くに住む職員を市町村の災害対策本部に派遣し、被害状況や市町村の対応状況等を県に報告させることとしている。また、大規模地震の発生時に多くの電話



による問合せに対応するため、県災害情報センター及び各県民事務所に県民の相談を受ける専門チームを設置する。この体制を確実に機能させるため対象職員の登庁経路の確認及び発災後の災害情報センターの速やかな立ち上げや運用のための訓練を毎年実施している。大規模災害が発生しても万全な初動対応ができるよう訓練の結果を検証し、必要に応じ「愛知県災害対策実施要綱」を見直すなど引き続き初動体制の強化に努めていく。

地震時の火災を防ぐ「感震ブレーカー」の設置促進は？

質問要旨(福田よしお)

「感震ブレーカー」の必要性や早期に普及させることについて、どのように考えているのか伺う。

答弁要旨(防災局長)

大規模地震が発生すると木造住宅密集市街地など通電(電気)により同時多発的に火災が発生し延焼拡大する危険性が高いため「感震ブレーカー」を設置することが有効である。このため県と市町村、関係団体、企業を構成員とする「愛知県住宅防火対策推進協議会」は、平成29年2月「愛知県住宅防火対策に係る推進計画」の中に「感震ブレーカーの普及啓発」を盛り込み、さらに5月には愛知県地域防災計画に県及び市町村が感震ブレーカーの普及啓発することを新たに位置付けた。また「感震ブレーカー」を県民に周知するため啓発冊子を配布したり、防災啓発イベントではデモ機を展示して体験してもらっている。今後も県民の皆様に感震ブレーカーを設置していただけるように取り組んでいく。

*「感震ブレーカー」は、地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。



リニアインパクトを生かした名古屋市と豊田市方面を結ぶ道路整備は？

質問要旨(福田よしお)

「地域高規格道路名古屋豊田道路」と「都市計画道路(日進三好線・名古屋春木線・名古屋三好線)」の現在の状況と今後の見通しについて伺う。

答弁要旨(建設部長)

名古屋豊田道路は、地域高規格道路の候補路線に位置付けられているが、その実現に向けては様々な課題がある。国道153号豊田西バイパスは8車線計画で、現在暫定4車線であり渋滞箇所も多く、また沿線では大型商業施設を核とした新たな街づくりが進んでおり、今後も交通量の増加が見込まれる。そのため、まず効率的な渋滞対策により交通の円滑化が図られるよう国にしっかりと働きかけていく。次に日進三好線は、日進市から東名三好インターチェンジに直結する幹線道路で、現在、日進市内においてスマートインターチェンジが計画されていることから、事業化はスマートインターチェンジ設置に伴う周辺の開発と交通状況を見ながら検討していく。次に名古屋春木線は、東郷町のセントラル開発を東西に貫く幹線道路で、区域内の約0.8キロメートル区間は土地区画整理組合で整備を進め、県はその費用を補助している。また、土地区画整理区域に接続する区間は、まず名古屋方面からのアクセスとなる



費用を補助している。また、土地区画整理区域に接続する区間は、まず名古屋方面からのアクセスとなる

西側約0.6キロメートルの区間を優先的に整備するため、昨年度から用地買収に着手。取得率は既に7割を超え、土地区画整理事業の進捗に合わせ完成をめざす。最後に名古屋三好線は、名古屋市から東郷町南西部を通過し、みよし市に至る幹線道路であり、現在、日進赤池箕ノ手土地区画整理事業区域に隣接する約0.8キロメートル区間の整備を進めている。現在の用地取得率は9割を超え、用地が確保できたところから工事に着手できるように準備を進めていく。リニア中央新幹線開業の効果を名古屋方面から尾張東部地域に、さらには豊田市方面へ広く波及させるためには、東西軸の強化が重要であり、今後とも新たな街づくりや交通需要を見据えて道路網の充実に取り組んでいく。



福田よしおのひとり言

12月議会では振興環境委員会でもごみ処理の広域化について質問しました。それぞれ地域事情がありますが、効率的な行政をめざして全て愛知県が事業主体となる必要があります。平成30年4月から国民健康保険の財政運営は愛知県が事業主体となります。国民健康保険制度維持に県民の皆さんのご理解が必要です。私は、限られた税収の中、今後もスケールメリットを生かした行財政改革を進めてまいります。

活動Photo



11/11 金婚・ダイヤモンド婚・プラチナ婚を祝う会



11/11 東郷町文化産業まつり 芸能大会



11/19 愛知環境イベント「エコアクション」



11/30 あいち航空ミュージアム グランドオープン式典



12/2 愛知万博駅伝大会壮行会



12/3 愛知県身体障害者福祉大会



12/10 白鳥もちつき大会



1/7 東郷町成人式



1/5 日進市新春祝賀会

街頭演説中～
次回から新政
あいちです。



1/7 日進市消防出初式

福田よしお公式 WEB サイトはこちらから

